

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
E142L011		製図 (Draft)							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
選択	1	3	教育学部		水1	日本語	英語	オムニバス						
担当教員	氏名 中原久志, 萩嶺直孝													
	E-mail nakaharah@oita-u.ac.jp(中原), hagimine@oita-u.ac.jp(萩嶺) 内線 7590(中原), 7547(萩嶺)													
授業の概要	製作品の製作に必要な図面の役割、製図道具とその使い方、基礎となる図法、図形の表し方、寸法公差・幾何公差について概説し、適切に図面を構想・作成できる能力を養う。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1 基礎的な製図法を習得し、構想した製作品を図面に表現できること								○		○				
目標2														
目標3														
目標4														
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								7		3				
授業の内容														
1 製図の意義と目的(担当:中原)														
2 製図用具と使い方(担当:中原)														
3 製図規則(線の用途と種類、寸法補助記号)(担当:中原)														
4 製図規則(文字の記入、尺度、寸法記入方法)(担当:中原)														
5 基本図法 キャビネット図(担当:中原)														
6 基本図法 等角図(担当:中原)														
7 基本図法 材料取り図(担当:中原)														
8 機械製図と第三角法(担当:萩嶺)														
9 機械 投影図(担当:萩嶺)														
10 機械 等角図(担当:萩嶺)														
11 機械 断面図(担当:萩嶺)														
12 機械 寸法記入(担当:萩嶺)														
13 歯車と製図(担当:萩嶺)														
14 CAD/CAMを利用した設計・製図(担当:萩嶺)														
15 まとめと製図教育の実際(担当:萩嶺、中原)														
ラーニングログ	A:知識の定着・確認	○	実技, ディスカッション, 評価				工 夫 の 他 の							
	B:意見の表現・交換	○												
	C:応用志向													
	D:知識の活用・創造													
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	事前配布プリントを熟読する(30h)												
	事後学修	課題及びレポートを作成する(30h)												
	想定時間合計													
教科書	随時プリント資料を配付する													
参考書	JISにもとづく標準製図法(理工学社, 978-4274224164)													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	図面評価		50%	○									
	課題レポート		50%	○									
注意事項													
備考	R2年度以降入学生については、3年次後期開講予定です。												
リンク													
	URL												
担当教員の 実務経験の有無	○												
教員の 実務経験	中原，萩嶺（中学校教員）												